

自己点検・自己評価報告書

令和 6 年 3 月 31 日現在

北京語言大学東京校

令和 6 年 10 月 30 日作成

目 次

第 1 設置者及びマネージメント

第 1 設置者及びマネージメント 1

基準 1 理念・教育目標 1

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか 1

1-2 教育目標が明確に定められているか 2

1-3 学校の将来構想を抱いているか 2

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか 2

第 1 設置者及びマネージメント 4

基準 2 組織 4

2-1 組織体制 4

2-2 教員組織 5

2-3 事務組織 5

2-4 採用と育成 6

第 1 設置者及びマネージメント 7

基準 3 財務 7

3-1 財務状況 7

第 1 設置者及びマネージメント 8

基準 4 教育環境 8

4-1 校地・校舎 8

4-2 施設・設備 9

第 1 設置者及びマネージメント 11

基準 5 安全・危機管理 11

5-1 健康・衛生 11

5-2 危機管理 11

第 1 設置者及びマネージメント 13

基準 6 法令の順守等 13

6-1 法令の順守 13

第 2 運営に関する事項	15
---------------------------	----

基準 7 運営全般	15
------------------------	----

7-1 組織的な運営	15
------------------	----

7-2 納付金	16
---------------	----

7-3 情報の共有化及び発信	16
----------------------	----

第 2 運営に関する事項	18
---------------------------	----

基準 8 学生募集	18
------------------------	----

8-1 募集方針	18
----------------	----

8-2 募集活動	19
----------------	----

8-3 入学選考	20
----------------	----

第 2 運営に関する事項	21
---------------------------	----

基準 9 教育活動	21
------------------------	----

9-1 教育計画	21
----------------	----

9-2 実施	22
--------------	----

9-3 成績判定	24
----------------	----

9-4 授業評価	24
----------------	----

第 2 運営に関する事項	26
---------------------------	----

基準 10 学生支援	26
-------------------------	----

10-1 支援体制	26
-----------------	----

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援	26
-------------------------------	----

10-3 生活面における支援	27
----------------------	----

10-4 進路に関する支援	28
---------------------	----

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援	29
------------------------------	----

第 2 運営に関する事項	31
---------------------------	----

基準 11 教育成果	31
-------------------------	----

11-1 成果の判定	31
------------------	----

11-2 卒業生の状況の把握	31
----------------------	----

第1 設置者及びマネジメント

基準1 理念・教育目標

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定められており、学生生活スタートブックや新入生オリエンテーション、各学期履修登録にて、学生に周知を行っている	
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	本学の各科目授業において理念・目的・育成人材像を踏まえたシラバスにて教育が行われている。また企業の方をお招きし、実社会への理解を深めることで、さらなる強化を図っている	理念・目的・育成人材像について在校生及び卒業生の到達度の検証を進めている
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	毎年、内容見直しの検討を行っている	
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員会議、研修にて教職員に周知されており、ホームページにて学外にも公表、学生募集においても本学の理念・目的・育成人材像が紹介されている	

1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	コミュニケーション能力重視の中国語教育、北京本校への留学制度、多国籍学生によるグローバル環境、キャリア支援サポート充実による就職実績などがある	

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5 年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	長期ビジョン、中期事業計画が策定されており、本科教育・非学歴教育・社会貢献への構想がある	社会情勢や学生たちのニーズを踏まえ、中期的構想を微調整していく

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	教職員全体会議、教員研修を定期的に行い、運営方針の共有化が図られている	

総括	課題及び改善内容
●教育理念・教育目標・育成人材像 本学教育内容だけでなく、企業や一般社会の方々との接点を数多く設けることで、教育理念・教育目標・育成人材像に到達できる機会を増やしている。その成果として本学卒業生たちは企業を始め、一般社会から高評価をいただいている人材を輩出している。	●教育理念・教育目標・育成人材像 本学教育内容だけでなく、社会との連携を図り、本学の教育理念・教育目標・育成人材像に本学学生がどのくらい到達しているかについて検証作業の取り組みを進めている。 ●将来構想 近年、社会情勢や学生ニーズは、比較的早いスピードで変化をしている。その変化をとらえ、社会的ニーズに合わせ社会貢献ができるよう、将来構想も微調整をするよう努めていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準2 組織

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

2-1 組織体制

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-1-1 設置代表者及び経営担当は基準要件に適合しているか	5	基準要件に適合している	
2-1-2 事業規模に応じた組織体制になっているか	5	人材の確保育成により、事業規模に応じた管理体制、教職員体制となっている	
2-1-3 受入れする学生の言語対応可能な組織になっているか	4	本学では、英語、ベトナム語、中国語での即時対応が可能となっており、他の言語についてもISIグループの協力を得て対応ができるようになっており、本学在学生の多国籍化を図っている	左記以外の言語対応についてはISIグループと共同で行っており、より多国籍化を図っていく

2-2 教員組織

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	5	基準要件を備えている	
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	4	各々の職務内容及び責任と権限が明確に定められている	本学の発展に伴い、業務調整が必要なため、適時職務内容及び責任と権限の明確化を行っていく
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌と責任がステージごとに明確にされている	本学の発展に伴い、業務調整が必要なため、適時職務内容及び責任と権限の明確化を行っていく

2-3 事務組織

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	5	生活指導担当、入管事務担当を含み、各業務の担当者が特定されており、職務内容、責任、承認プロセスも明確に定められている	
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	3	各業務の担当者は学生や教職員に周知しているが、23年度は教職員の入れ替えがあり、周知に時間を要した	教職員の入れ替えがあった際も、迅速に担当者の周知ができるように努めていく
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	5	有資格の担当者を配置している	
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌と責任がステージごとに明確になっている	本学の発展に伴い、業務調整が必要なため、適時職務内容及び責任と権限の明確化を行っていく

2-4 採用と育成

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	5	管理者、教員及び事務職員の採用制度は整備されている	
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	本学の必要に応じて人材の確保を行い、人材育成の研修も行われている	本学教育を質が高い状態で保持していくため、計画的に教職員の採用ができるよう努めていく
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	5	人事評価制度が整備されている	
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	5	昇進昇格制度が整備されている	
2-4-5 賃金制度は整備されているか	5	給与規定が整備されている	

総括	課題及び改善内容
●事務組織 2023 年度は教職員の入れ替えがあり、本学内外への周知に時間を要したことがあったが、年度末までに新担当者の周知がなされた。今後の入れ替えの際には、本学内外への周知を迅速に行えるように努めていく。	●人材採用 本学の発展に伴い、本科教育・非学歴教育・各種講座などを担当する教職員を適宜採用育成していく必要があり、計画的な人材採用と育成にさらに力を入れていく

第1 設置者及びマネジメント

基準3 財務

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

3-1 財務状況

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	4	新型コロナウイルス感染症による影響が23年度も続いていたが、ISI グループにおける予算・収支管理がより一層適切に行われた	本学の強みを生かした学生募集活動を行うことで、さらなる学生確保及び事業拡大を図り、財務状況の安定を図っていく
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	有効かつ妥当なものとなっている	
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5	適正に行われている	

総括	課題及び改善内容
●財務全般 ISI グループにおいて予算・収支管理がより一層適切に行われることで、安定した財務状況となり、本学が取り組んでいる業務が順調に推進できた。	●財務状況 本科教育・非学歴教育・各種講座における学生獲得状況を改善させ、さらなる財務状況の安定ができるよう努めていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準 4 教育環境

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

4-1 校地・校舎

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	交通の便が良い池袋に立地し、最寄り駅からも近い。また繁華街からは距離があり、教育環境に適した位置にある	
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	4	教育活動を安定的に継続していくための校地校舎が整備されている	学習課程の多様化に伴い、校地校舎の再整備を引き続き検討していく
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	5	校舎面積は基準に適合している	
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	4	防災に対する体制は整備されている	継続的に防災教育や防災訓練を行っているが、今後も防災体制の見直しや改善に努めていく

4-2 施設・設備

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	5	基準に適合している	
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	4	十分な照度と換気がされている。感染症予防に対しては、常時換気システムを稼働させ、教室ドアや防災用換気窓の利用により、空気の入れ替えを行っている	教室ドアや換気扇の開閉状況を確認し、適切な換気に引き続き努めていく
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	4	一部の教室にて遮音性が高くないところがあるが、概ね教室の遮音性が確保されている	使用教室や使用時間の調整を行うことで、遮音対策を引き続き行っていく
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分に確保されているか	5	自習スペースが十分に確保されている	
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	教育内容及び学生アンケート調査結果応じて、図書メディアを毎年整備している	学生のニーズに合わせて図書メディアを整備できるよう今後も努めていく
4-2-6 視聴覚教材や ICT 教育の設備が整備されているか	4	整備されている。設備の良さから本学でも HSK ネット試験が実施できるようになった	今後教育機器の点検や新旧交換などに努めていく
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	5	確保されている	
4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	4	学生数に応じたトイレが設置されているが、階により設置数に偏りがある	トイレの設置数については今後も検討を行っていく
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	5	法令上必要な設備が備えられている	
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか	5	廊下及び階段は、緊急時に危険がない形状になっている	緊急時に危険な状態にならないよう、引き続き防災訓練を行っていく

4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	3	手すりや専用トイレなどの設置はないが、段差がない建物を校舎としている	今後、対策を検討していく
4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	4	22 年度に清掃会社の人員不足により、清掃作業の不備が見られたが、23 年度は清掃会社を変更することで改善された	24 年度も良好な清掃状況が保持できるように努めていく

総括	課題及び改善内容
●教育設備 本学の視聴覚教室設備が優れているため、23 年度より本学が HSK ネット試験の会場となり、毎月本学にて HSK 試験が受験できるようになった。 ●清掃状況 23 年度から清掃会社の変更を行い、これまでの不備が改善され、清掃状況の管理が適切に行われるようになった	●図書室利用 23 年度から感染症鎮静化により図書室を通常利用できるように変更を行った。今後は学生ニーズを汲んだ新規図書の整備や利用促進を進め、学生たちの図書利用の活性化に努めていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準5 安全・危機管理

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

5-1 健康・衛生

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	4	定期的な健康診断、学校保健師が設置され、適切な組織体制が確立され、利用されている	学校保健師が設置されたが、学生たちの認識や利用度が高まるよう努めていく
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	本学留学生たちも適切な健康保険に加入している	一部の留学生に健康保険の有効期限切れが生じないよう、確認作業を今後も行っていく
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	5	感染症による公欠、再登校の規定が定められており、また感染症発生時の措置も考えられている	

5-2 危機管理

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-2-1 危機管理体制が整備されているか	4	各種問題についての対応、管理体制が整備されている	問題発生時の対応について教職員の理解をさらに深め、対応訓練を継続していく

5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	5	定めている	
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めているか	5	警報が発令された場合の措置を定めており、学生生活スタートブックにて学生に周知をしている	
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に実施しているか	4	防災訓練（避難訓練）を年 2 回定期的に実施している	防災訓練（避難訓練）に参加できなかった教職員や学生たちにも、定期的に防災教育ができるような仕組みを考え、実践していく
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	5	防災用工具、保存水、保存食、簡易トイレ等が備蓄されている	

総括	課題及び改善内容
●健康・衛生 ISI グループで保健師が設置され、本学でも保健師が学生たちの健康衛生を支援し、健康衛生状態が回復する成果が出ている。しかし、学校保健師への認識や利用状況が十分ではないところもあり、さらに適切な情報提供や利用状況を目指していく。	●防災訓練（避難訓練） 年 2 回の防災訓練（避難訓練）においては、訓練内容の理解や定着が教職員や学生たちの中で進んでいるが、訓練に参加できなかった教職員や学生たちが発生するため、そのフォローができるような仕組みを整え、防災教育が全員に行えるよう努めていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準6 法令の順守等

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

6-1 法令の順守

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がされているか	5	法令や設置基準を順守し適正な運営を行っている	
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5	教職員会議にて定期的に個人情報保護について「個人情報保護規定」について確認し、遵守させている。学生には学籍履修登録時及び学生生活スタートブックで定期的に注意喚起を行い、問題が生じそうな場合は、適宜学生指導を行っている	
6-1-3 入管・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	滞りなく行っている	
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	2018 年度より自己点検自己評価を行い、毎年問題点の確認及び改善を行っている	2023 年度自己点検自己評価については業務上の都合により、実施が遅れたため、次年度は早期に実施を行う
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	5	ISI グループ校として結果を公開している	

総括	課題及び改善内容
●自己点検自己評価 23 年度自己点検自己評価が業務上の都合により、実施が遅れてしまったため、次年度以降は通常通り、次年度は早めの時期に実施できるよう改善をしていく。	●個人情報 学生たちによる SNS 等での情報発信は、今後も個人情報保護のため、発信情報のチェックや確認が必要であり、トラブル防止についての指導を引き続き行っていく。

第2 運営に関する事項

基準 7 運営全般

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

7-1 組織的な運営

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	4	明確な長期ビジョン、中期事業計画、年度事業計画があり、教職員に周知されている	社会情勢や学生たちのニーズを踏まえた中期的構想の微調整があるため、都度教職員への周知に努めていく
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	5	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がされている	
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	5	確立されている	
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	5	ISI グループにおいて予算管理がより適切に行われるようになり、明確な執行ルールのもと、適切な予算編成が行われている	
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	4	ISI グループ各部門からのサポートを受け、定期的に業務の見直し、効率的な運用の検討が行われている	本学の発展に伴い、様々な課程が設置されてきているため、引き続き業務の見直し、効率的な運用を組織的にやっていく
7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システム化等による業務の効率化が図られている	情報システムの変更があっても、業務効率が低下しないよう教職員の理解や習熟度を上げていく

7-2 納付金

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	学生募集要項により明示されている	
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	5	学生募集要項により明示されている	
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	学生募集要項及び学生生活スタートブックにより規定が定められ、公開されている	

7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	4	各業務担当が外部の情報を入手し、組織内で共有、経営に生かしている	外部情報をさらに有効的に活用できるよう努めていく
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある	教職員の入れ替えがある際も、効率的に情報共有ができるよう努めていく
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	本学ホームページ、学生募集要項、学生ポータルサイト等で日本語以外の言語も使用し、適切に情報提供を行っている	適切でより迅速に情報提供を行っていけるように引き続き努めていく

総括	課題及び改善内容
●情報システム 2023 年度に ISI グループで情報システムの改善新設が図られ、情報システムの利便性向上が図られた。情報システム変更に伴い、本学教職員の理解や習熟度向上も進められたが、より効率的な使用ができるように努めていく	●業務の見直し 本学の発展に伴い、様々な課程が設置され、教職員の入れ替えもあるため、引き続き担当業務の見直し、効率的な運用を図っていく

第2 運営に関する事項

基準 8 学生募集

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA:当てはまらない

8-1 募集方針

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	5	理念・教育目標に沿った受入方針を定めており、説明会・個別相談会にて志願者に伝えている。また日本人学生・留学生それぞれにおいて年間及び月間募集計画を策定している	留学生の場合、志望動機があやふやな場合もあるが、本学では理念や教育目標に沿った学生を受け入れるようにしている
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	5	日本人学生、留学生ともに募集定員の範囲内で募集活動を行っている	
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	募集担当職員は、教職員ともコミュニケーションを密に行い、東京校・北京本校・中国教育部の規定や制度を正しく認識し、最新情報を入手した上で入学相談を行っている	今後も北京本校との情報交換を頻繁に行い、中国教育部の規定や政策を確認しながら、入学相談に対応していく

8-2 募集活動

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	HP・パンフレット・チラシなど、広報物において日本語、英語、ベトナム語を中心に情報開示がされている	次年度は、韓国語、モンゴル語・ビルマ語などの多言語広報資料作成を予定しており、本学の多国籍化をさらに進めていく
8-2-2 求める学生像を明示しているか	5	HP・パンフレット・説明会資料において求める学生増を明示し、説明の際にもどのような学生が入学後に成功するか実績を踏まえた上で、アドミッションポリシーを説明している	
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	4	日本語以外、英語、ベトナム語でも HP・説明資料にて説明対応をしている	次年度は、韓国語、モンゴル語・ビルマ語などの多言語広報資料作成を予定しており、本学の多国籍化をさらに進めていく
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	5	各国・地域の法令を遵守した募集活動をおこなっている	
8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	4	海外代理店と密に連絡をとり、最新かつ正確な情報提供を行っている	本学の多国籍化を進めるため、さらに数多くの海外代理店との関係を深め、最新かつ正確な情報提供を行っていく
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	4	各国代理店が本学の状況を把握した上で、適切な募集活動を行っている	各国代理店に本学の最新情報を引き続き迅速に伝え、募集活動がより適切になるように努めていく

8-3 入学選考

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	学生募集要項に選考方法や求める人物像、出願資格等正確に明示している	本学が求める学生のイメージがより正確に受験希望者に伝わるように引き続き取り組むとともに、中国側の出願資格要求も随時把握し、明示していく
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	出願書類を詳細に確認し、また入試面接時に信憑性の確認を行っている	出願者の提出書類に正確さや信憑性が見られない場合、追加提出の要請を行うようにし、引き続き的確な選抜を行っていく
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	4	入学選考の体制が整備されている	入学選考の基準について教職員の入れ替えがあっても、引き続き同じような基準で選考できるようにしていく
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	5	出願書類や入試面接にて確認をしている	出願書類に少しでも不明な点がある場合面接時に引き続きしっかりと確認を行う

総括	課題及び改善内容
●学生募集活動 23年度は感染症鎮静化により留学生志願者が増加したが、適切な入学選考を行い、多数の本学が求める学生像を持つ留学生を獲得することができた。また日本人学生も最新中国トレンドを知り、中国や中国語に興味を持った学生たちを獲得することができ、学習意欲が高い学生たちを確保することができた。	●学生募集活動 本学の特色である中国語教育、留学制度、就職サポート充実などについてよりアピールを強めていくとともに、HPの改修、SNSの投稿頻度強化などを通して、本学のさらなる認知度向上を図り、より一層本学が求める学生が確保できるように努めていく。

第2 運営に関する事項

基準 9 教育活動

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

9-1 教育計画

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	5	本学は、中国語＋専門知識＋国際的視野を武器に、主体性を持って自ら思考、問題解決を図れる人材の育成を目指しており、それに合致したコース設定が行われている	
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進捗設計がなされているか	5	本学では、全科目で理念・目標の達成を念頭に置いた教育内容としており、それに沿った進捗設計をしている	
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	5	北京語言大学は、世界最高峰の中国語教育機関であり、中国語教育におけるリーダーの役割を担っている。東京校も教育計画やカリキュラム等そのすべてを北京語言大学本校に倣っている	
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	5	同一科目の授業が複数存在している場合は、授業内容・進捗・試験などで業務の分担や共有がおこなわれ、共通理解が得られている	
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	5	中国語科目は北京本校のカリキュラムを踏襲しており、カリキュラムは体系的であり、内容も十分である	

9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	5	本学は、北京語言大学北京本校と同じ教材を使用しており、教育目標に合致している	
9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	4	上述のように、北京本校に倣った教材を使用しており、十分に留意されている	各教員が生教材を使用する際も、出典を明示し、著作権法に抵触しないよう指導している
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	5	担当科目を依頼した後、本学に蓄積された情報や過年度分の副教材、該当科目の最新情報、クラス状況など、すべてを担当教員に提示している	
9-1-9 教員配置が適切になされているか	4	教員一人一人の専門性を把握し、その専門性が活かせる配置を行っている。また、定期的を開催している勉強会により教員育成を行っており、その成果からも教員配置を適切に行っている	本学教育課程が多様化しているのに合わせ、随時適切な教員配置を行っていく

9-2 実施

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	5	英語や日本語のプレイスメントテスト、中国語既習者には入学時までに能力チェックを行い、適切なクラス編成を行っている	
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	5	学生指導上に必要な情報は、担当教員に事前に伝達している	
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	4	全ての教員が北京本校指定様式でシラバス作成をし、それに則った授業が行われており、学生にもシラバスが提示されている	進度の違いが出てくることもあるため、進度のコントロールと管理を引き続き行っていく

9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	5	修了要件は学則により定められ、学生生活スタートブックに明記され、学生に明示している	
9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	4	科目により PC 教室や各教室内の教育用機器を活用している	今後 AI を教育現場にも活用できるよう教職員への指導を行っていく
9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	4	出席記録、授業記録を正確に行っている	授業記録の記録方法や記載内容について定期的に確認し、引き続き改善を行っていく
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	5	適切な区切りで理解度や到達度の確認を行うとともに、定期テストによる確認も行われている	
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	3	23 年度は ISI グループの組織変更により、授業評価の実施ができなかったが、定期試験の結果や学生面談、通常授業から学生自己評価を把握している	24 年度からは 22 年度までと同様に毎学期、学生による授業評価アンケートを実施し、学生の自己評価把握に努めていく
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	4	担任教員により個別フォローが行われている	本学組織として支援体制の再構築も引き続き行っていく
9-2-10 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	5	授業に関する相談や苦情などは、学生サービスセンターが受付、適切かつ迅速に対応している	
9-2-11 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	5	入学時にオリエンテーションにて担任教員、事務方の担当者を紹介している。また留意点について文書化された学生生活スタートブックを配布するとともに、その内容について資料を見せながら説明を行っている	
9-2-12 留学生生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	4	入学時オリエンテーション時に留学生に留学ビザ担当者を紹介し、留学生生活や入管法上の留意点について資料配布と説明を行っている	留学生生活や入管上の留意点は入学時だけでなく、継続的に学生たちに提示していく必要があり、その機会を今後も作り、指導を強化していく
9-2-13 HSK、JLPT の指導体制はあるか	4	それぞれの科目において受験指導、対策練習を行い、有効な指導を行う体制がある	学生たちが就職活動を円滑に進められるよう、JLPT・HSK の指導強化を引き続き行っていく

9-3 成績判定

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	5	成績判定は、平常点、中間試験、期末試験による評価を総合判定している。この基準や方法は、学生生活スタートブックにて定められ、開示されている	
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	5	定期テスト終了後 1 週間以内にシステム上にて成績発表を行い、判定結果の見方も指導することで、的確に伝わっている	
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	5	期末テスト作問前に、過年度分の反省点などを共有し、毎回修正をはかっている	

9-4 授業評価

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	1	23 年度は ISI グループの組織変更により、授業評価の実施ができなかった。	24 年度からは 22 年度までと同様に定期的に学生による授業評価アンケート、校長や主任教員による授業見学で評価を実施していく
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	3	23 年度は ISI グループの組織変更により、授業評価の実施ができなかったが、評価者の主観で変わることのないよう配慮された統一の評価シートが準備されている	24 年度からは 22 年度までと同様に統一の評価シートを用い、評価者の主観で変わることのないよう配慮された評価を実施していく
9-4-3 学生による授業評価を定期的に実施しているか	1	23 年度は ISI グループの組織変更により、授業評価の実施ができなかった。	24 年度からは 22 年度までと同様に毎学期、学生による授業評価アンケートを実施していく

9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	3	23年度はISIグループの組織変更により、授業評価の実施ができなかったが、授業評価アンケートや授業見学の結果は、担当教員にフィードバックされ、指導的立場にある常勤教員から具体的な改善点やアドバイスができる体制が整っている	24年度からは22年度までと同様に毎学期、授業評価アンケートを実施し、担当教員へのフィードバックから教員の教育能力向上を引き続き図っていく
---	---	--	---

総括	課題及び改善内容
●中国語教育公開講座及び教員研修 23年度も中国語教育のリーダー的存在である北京語言大学として、中国語教育公開講座、中国語教員学習会を実施し、学内外の中国語教員から好評を得ている。今後は本学学部生、他校学生、一般社会人受講生及び一般社会の人を含む方々に有益な公開講座を順次行い、本学ならではの教育内容で社会貢献も進めていく予定である。	●授業評価 23年度はISIグループの組織変更により、授業評価の実施ができなかったため、24年度から22年度までと同様に授業評価を行い、教員や授業の優れたところや改善点を分析し、教育の質向上をさらに目指していく

第2 運営に関する事項

基準 10 学生支援

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

10-1 支援体制

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	4	年度の事業計画、業務計画、学友会支援計画を通じて学生支援計画を策定し、支援体制を整えている	突発的事象にも迅速かつ柔軟に対応できるよう、引き続き体制を強化する
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	4	担任教員及び学年指導員が窓口となり、休日や長期休暇中も学生対応を行っている	対応フロー、対応法などが常に均質となるよう、引き続き教職員全体に徹底を図る

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	入学前及び入学直後に合計3回のオリエンテーションを実施している	
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	5	大学での生活、日本社会における規律や社会道德等、生活全般に関するオリエンテーションを行っている	

10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	4	豊島区主催の国際交流会や様々なイベントに参加している	更に多くの学生が地域活動に参加できるよう、引き続き各種イベントの周知を強化していく
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	5	対面及びオンラインでの中国語講座を年間通じて開講しているほか、本学による文化講座を定期的に公開し、地域社会への貢献を図っている	

10-3 生活面における支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-3-1 住居支援を行っているか	4	ISI グループ直営の寮を、希望者に提供している	ISI グループの寮が増えたため、本学教職員の寮への理解を深め、情報提供ができるようにしていく
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5	本学学生たちにアルバイト支援を行っている。感染症鎮静化により中国語を使用するアルバイト案件が増え、中国語実践ができるアルバイト紹介もできるようになった。	
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	4	交通事故が起きた際の対応手順が定められており、相談体制も整備されている	全教職員に対応手順の共有を引き続き進め、迅速な対応をおこなっていく
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	5	年に1度、定期的に健康診断を実施している	
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	5	学期毎に学生面談を行い、個々の状況を把握している。また留学生については、ビザ更新手続き時にも生活状況を調査している	
10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	4	留学生を中心にアルバイト先の在籍調査など、裏付け確認を行っている	生活状況の変化に応じて、随時迅速な裏付け確認が行えるように引き続き努めていく

10-4 進路に関する支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	4	国家資格キャリアコンサルタント取得者がキャリア指導担当（進路指導担当）として 2 名配置され、専門的指導を行っている	低年次からのキャリア教育を推し進めていき、在学中からの充実したキャリア指導を定着する
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	4	キャリア指導担当（進路指導担当）が卒年次の進路希望を全員分把握し、教員及び事務に情報共有を行い、学校全体で指導を行っている	キャリア指導担当（進路指導担当）の把握する情報を教職員間で共有するだけでなく、学生の動向について担当者以外からの情報共有もできるよう、引き続き努めていく
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	5	就職関連資料、社会情勢がわかる最新情報雑誌だけでなく、中国の経済動向もわかるニュースアプリなどタブレットでいつでも閲覧できる環境が整っている	
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	4	入学時より就職活動スケジュールを提示し、キャリア関連科目により一貫した指導を行っている	入学時からの一貫した進路指導を強化するため、各科目担当者及び指導教員との連携をさらに密になるように努めていく
10-4-5 HSK、JLPT 等の受験指導体制は整っているか	4	それぞれの科目において受験指導、対策練習を行う体制がある	留学生のキャリア育成強化のため、JLPT の指導強化を引き続き進めていく
10-4-6 大学院試験対策の指導体制は整っているか	4	卒年次前に大学院進学に向けたオリエンテーションを開催。複数の大学院指導ができる教職員がおり、指導を行っている	国内外の大学院進学指導に向けて組織的な指導体制作りを引き続き行っていく
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	4	キャリア担当職員により随時学生の要望に合わせて、対面型・オンライン型面談でいつでも指導が受けられる体制が整っている	引き続き外部機関とも連携を図りながら、企業による AI 面接導入など、近年の採用動向に合わせた多様な指導体制づくりを行う

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	5	担当職員は年に数回実施される入管協会等が主催する研修会に必ず参加。また入管局 HP 等を確認し最新の情報を収集、共有する体制がある	
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	5	新入生入学時、在校生は個人面談時に留学資格に関する注意事項の確認や伝達を行っている	
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	4	入学時や各学期の個人面談により確認した最新情報を本学学生管理システムにて管理共有をしている	在留情報に変更があった場合、速やかに情報を提供するように留学生たちへの促しを引き続き行っていく
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	4	学生の出席状況や学習生活状況を担任教員と事務職員で把握し、問題を抱えた学生について教職員が面談、改善指導を行っている	問題を抱えた学生を継続的に指導できるよう、指導方法や時期について教職員間の共通意識をさらに強化していく
10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っているか	4	毎学期、個人面談、アルバイト調査、在留資格に関する指導を行い、不法残留者・資格外活動違反者・犯罪関与者を発生させないようにしている	問題を抱えた学生を継続的に指導することで、引き続き不法残留者・資格外活動違反者・犯罪関与者を発生させないようにしていく
10-5-6 過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	3	資格外活動違反者の発生があったが、留学生の指導体制は確立されており、今後も発生させないように努めていく	今後も入試選抜、在籍管理を強化し、資格外活動違反・不法残留者・犯罪関与者を発生しないようにする
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	4	帰国学生に対して、日本出国スタンプ、在留カード等の証憑提出を求め、帰国確認を行うとともに、確認書類を適切に管理している	帰国後に速やかに証憑の提出がされるよう、引き続き学生の指導を強化していく

総括	課題及び改善内容
●留学生管理 本学は入国管理局より 24 年度も引き続き適正校として認められているが、23 年度に資格外活動違反等が若干名発生をしてしまった。留学生への指導体制は確立されているが、今後も定期的な状況把握、即時対応を徹底し、適切な留学生管理を行い、留学生が安心して学習できるよう支援体制も強化していき、25 年度も適正校として認定されるように努めていく。	●在留手続 職員の入れ替えがあったため、在留手続担当者が新規担当者となったが、これまで同様に適切な在留手続及びサポートができるように体制作りを行い、問題が発生しないように努めていく。

第2 運営に関する事項

基準 11 教育成果

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

11-1 成果の判定

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
11-1-1 進路及び卒業・修了判定が適切に行われているか	5	北京本校の規定に基づき、卒業・修了判定を適切に行っている。また判定過程において、北京本校による審査も行われている	
11-1-2 HSK、JLPT 等の外部試験結果を把握し、適切に管理されているか	5	HSK、JLPT の団体受験の結果は全て把握し、適切に管理している。また個人受験に関しても、学生ポータルサイトで随時申請を受け付け、管理している	

11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取り組みを行っているか	4	キャリア指導担当・事務局が中心となり、卒業生の状況把握に努めている	24 年度に開学 10 年目を迎え、校友会活動等を通じ、一層卒業生の状況把握ができるよう努めていく
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	4	「進路決定届」の提出及びキャリア指導担当、担当教職員の面談により、卒業後の進路を把握している	帰国した留学生の進路（就職・進学など）が把握できる体制の構築を引き続き進める

11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	4	本学キャリア教員・入試センター職員による就職先訪問、インタビューなどを実施し、状況把握を進めている。また企業側から本学卒業生たちの高評価の報告も受けている	大学院進学 of 卒業生も増えてきているため、大学院進学後の状況把握についても、今後進めていく
--	---	---	---

総括	課題及び改善内容
●卒業生状況 2024 年 3 月卒業生を含め、すでに本学卒業生は 250 名を超え、本学北京本校にて選出される優秀卒業生には数多くの東京校学生が選出され、東京校の優れた教育が成果となって現れている。また卒業生就職の企業からも卒業生たちへの高評価が寄せられており、より一層良い人材を輩出できるよう努めていく。	●学位認定 本学では卒業論文の執筆が必須となっており、卒業論文合格が学位認定の必須項目となっている。卒業生が増えるにつれ、卒業論文のレベルもさまざまになってきているが、よりレベルが高い卒業論文になるよう、短い作文レベルから論文レベルまでの指導強化を図っていく。

北京語言大学東京校の自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

北京語言大学東京校 自己点検・自己評価委員会 令和6年10月

校長 宋 紅芳

副校長 大沢 徹

教務主任 胡 敏男

教務副主任 畢 文涛

事務主任 竹島 奈歩

入管担当 竹島 奈歩

入試担当 大沢 徹、竹島 奈歩、小池 惣

入試広報 菅井 史仁、山口奈津美、遠藤和志